

博物館力 大谷資料館 栃木県宇都宮市

PV撮影に映画のロケ地にと 引っ張りだこの地下採掘場跡

フランク・ロイド・ライトが設計した旧帝国ホテル本館にも使用された大谷石。その地下採掘場跡にある資料館が、なぜかいま人気スポットになっている。

宇都宮市北西部の大谷町一帯で採掘される凝灰岩「大谷石」。東西約4km、南北約6kmにわたって広く分布しており、全体の埋蔵量は10億ともいわれている。加工しやすく、耐火性にも優れているため、古くから外壁や石蔵などの建材として使われてきた。



大正中期から昭和後期まで採掘が行われていたが、これほど大規模に採掘が続いた場所は、世界的にもあまり例がないという。その採掘場跡が大谷資料館としてオープンし、初めて一般公開されたのは1979年(昭和54)のことだった。

「機械化される前は、ツルハシを使って手で掘っていたといえますから、相当な重労働だったはず」



1 地下に広がる巨大な採掘場跡。石段は見学用に後から作られたもの。
2 掘削用の機械が導入される1960年頃までは、これらの道具を用いて人力で掘っていた。

大谷石を一躍有名にしたのは、フランク・ロイド・ライトが旧帝国ホテル本館を建てる際に採用したこと。現在は明治村(愛知県犬山市)に移設されたこの建造物は、関東大震災の際に周辺のビルが倒壊する中、ほとんど無傷だったことで話題になった。

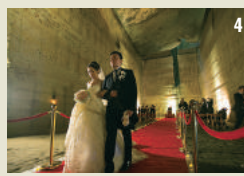


大谷の奇岩群「御止山」。

「1か2ぐらいなんです」そんな大谷石の歴史と採掘の様子がわかる貴重な施設だが、面白いのは鈴木さんの代になってからの新展開だ。鈴木さんは、もともと宇都宮観光コンベンション協会のフィルムコミッション担当で、その繋がりもあって映画やプロモーションビデオ(PV)などの企画を呼び込むことに成功した。

2014年には人気グループ、三代目J Soul BrothersがPVの撮影に使用。また、劇場映画『るろうに剣心 京都大火編』のロケ地にもなった。これがきっかけで一気に知名度が上がった。以降、テレビドラマやCMを含め、さまざまな撮影スポットとして人気を博している。

宇都宮市内のウェディングブローカー「TOYA MUSEUM WEDDING」も非常にユニークだ。これは地下採掘場跡をスポットライトとキャンドルで照らし、幻想的な雰囲気の中で結婚式を行うというもの。プランナーの香取有美さんは言う。「教会式、人前式、神前式のすべてに対応可能です。神秘的な地下神殿で挙げる結婚式は特別な思い出になるとあって、年間50件ほどのお問い合わせをいただいています」



3 資料館の隣にある「ROCKSIDE MARKET cafe」。人気ナンバーワンメニューは「パストラミビーフとマッシュポテトのガレット」(700円・税込)。
4 神秘的なウェディングの様子。5 高級シャンパン「ドン・ペリニオン」の新商品発売レセプション会場としても使用された。

